資料２－４

令和５年度　調布市自殺対策について

１　普及啓発活動（基本施策１，４）

（１）　こころの体温計のシステムを導入し，結果によって各種相談窓口への紹介を行うとともに，自身のこころの状態に向き合うきっかけづくりとして，自殺予防の周知・啓発に取り組んだ。(別紙１)

（２）　市 HP で「生きづらさを感じているあなたへ(こころの悩み相談)」を公開し，各種相談窓口を案内するとともに，情報を随時更新した。

（３）　自殺対策基本法における自殺予防週間(9/10～9/16)，自殺対策強化月間(3 月)の取組に合わせ，調布市でも３月と９月を自殺対策強化月間として以下の事業等を展開した。

ア　相談体制の周知

東京都等の相談窓口を市 HP で公開するとともに，市報８月２０日号や市 HP に特集記事を掲載

イ　保健センターの各種健診事業における啓発用グッズの配布

ウ　９月と３月の強化月間中は,トリエＡ館地下１階コンコース（京王線調布駅改札先）にて，チラシや啓発グッズの配布

エ　９月２１日（木）に国領町にあるイトーヨーカ堂国領店の店内・出入口でチラシや啓発グッズを４００セット配布

オ　自殺予防講演会（予定）

『(仮) 若者向けストレスとの付き合い方・怒りとのつきあいかた・イヤなことを「イヤだ」と言えるには ～自分も相手も大事にできる会話～』

講師：髙橋　聡美氏（医学博士）中央大学人文科学研究所　客員研究員

動画視聴期間　R6 年３月１日(金)～３月 31 日(日)

周知方法：市報，市 LINE，協定締結大学へチラシ配布，駅コンコースで配架

２　人材育成（基本施策２，４）

（１）　市職員向け　ゲートキーパー養成講座（予定）

市民ゲートキーパー養成研修「身近な人の悩みにどのように気づき，対応するか～大切な命を守るためにできること～」（YouTube 動画）を視聴のうえ，確認テスト（logo フォーム）に回答

実施期間：令和６年２月 13 日(火)～2 月 29 日（木）まで

（２）ゲートキーパーの役割についてのミニ講話（チラシの配布）

民生児童委員，幼稚園・保育園等に出向く保護者向け健康教育でミニ講話を実施

対象者	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
民生児童委員	140 人（1 回）	132 人（1 回）	0 人（※1）	0 人（※1）	136 人（1 回）
事業参加市民	419 人（26 回）	450 人（24 回）	102 人（6 回）	69 人（9 回）	214 人（12 回）
行政職員		29 人（1 回）	21 人(1 回)	43 人（1 回）	ー

※１　令和２年度・３年度は，毎年２月に実施している「調布市合同民生児童委員協議会」が新型コロナ感染症の影響で中止となったため０人。令和４年度から再開

（３）ゲートキーパーの動画を公開中

調布市動画ライブラリー「身近な人の悩みにどのように気づき，対応するか　大切な命を守るためにできること」(YouTube へ外部リンク)